

貸出金の状況

貸出金残高

3,839億円

貸出金は、中小企業向け融資や住宅ローンを中心に個人向け融資が増加し、期末残高は前期比3.52%増加の3,839億円と4期連続で増加しました。

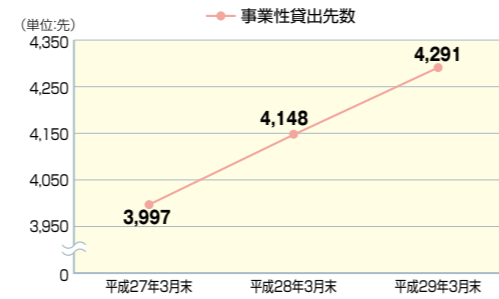
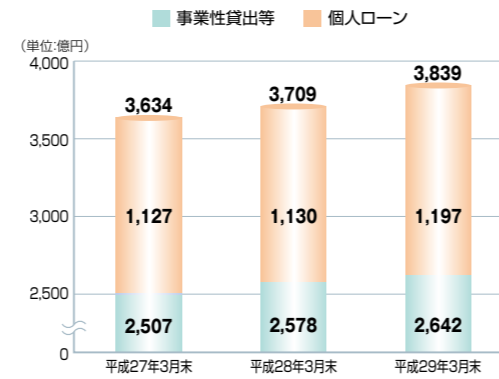
事業性貸出先数

4,291先

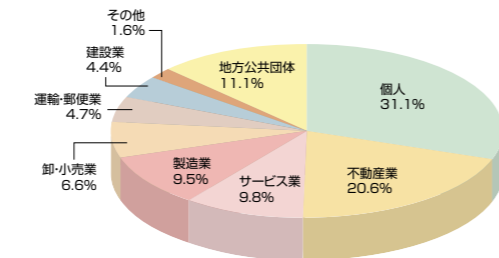
事業性の貸出先数は、ビジネス情報の提供や補助金の申請支援、呉創業支援ネットワーク等を通じて創業支援へ取組むなど、経営上の課題解決に繋がる提案活動に取組んだ結果、年間143先増加の4,291先となりました。

貸出金業種別残高構成比

地域貢献のバロメーターである貸出金の88.8%は、個人やさまざまな業種の中小企業をはじめとした地域のお客様に幅広くご利用いただいています。



※事業性貸出先には、地方公共団体、金融機関向け貸出を含んでいません。



預金積金の状況

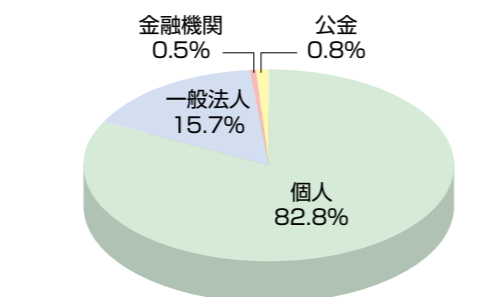
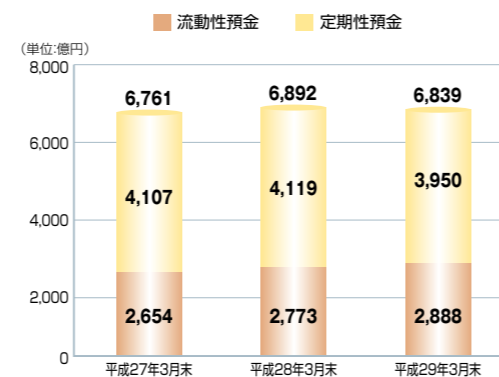
預金積金残高

6,839億円

預金積金は、給与・年金振込や口座振替、インターネットバンキング契約の推進など、積極的な営業活動に取組んでまいりました。期末残高は前期比0.77%減少の6,839億円となりました。

預金者別預金残高構成比

地域のお客様の信頼・信用のバロメーターである個人預金の総預金に占める割合は82.8%となっています。地域金融機関として、地域の個人のお客様を中心とした預金業務を行っています。



損益の状況

実質業務純益

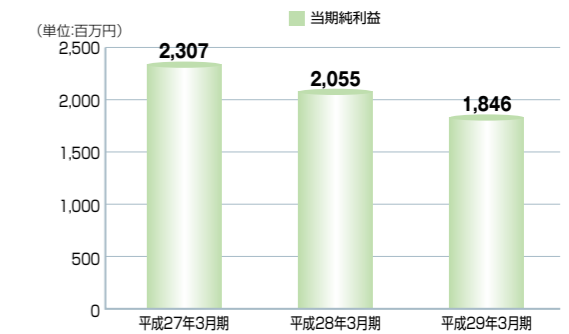
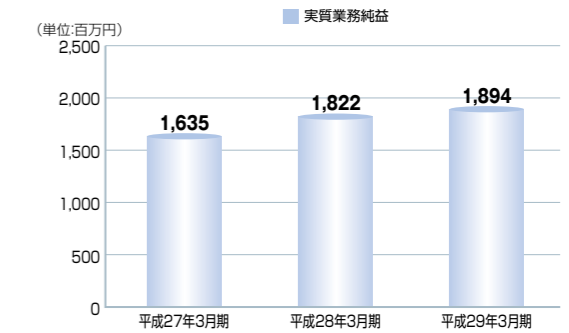
18億円

本業のもうけを示す実質業務純益は、資金利益が増益となったことが寄与し、前期比3.96%増加の18億94百万円と3期連続で増加となりました。

当期純利益

18億円

当期純利益は、将来の貸倒に備えた引当金を厚く積み増したこともあり前期比10.17%減少の18億46百万円となりました。



自己資本の状況

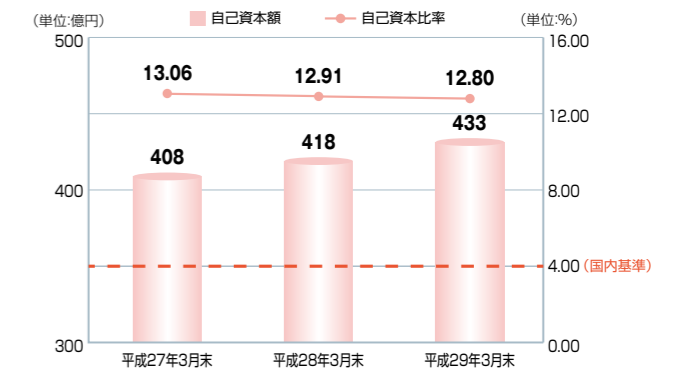
自己資本比率

12.80%

自己資本額

433億円

自己資本額は前期比3.69%増加の433億円となりました。一方、リスク・アセット等は、貸出金残高の増加等により前期比4.58%増加したため、自己資本比率は前期比▲0.11ポイントの12.80%となりました。国内業務のみを行う金融機関に必要とされる基準4%（規制値）を大幅に上回っており、健全性に問題はありません。



不良債権の状況（金融再生法ベース）

不良債権比率

4.89%

不良債権額

188億円

事業再生先への支援に取組んできた結果、不良債権額は前期比24億円増加の188億円となり、不良債権比率は前期比+0.50ポイントの4.89%となりました。

なお、不良債権には、担保や貸倒引当金等により適切に保全が図られており、備えは万全です。

